

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====  
【ソフト名】 SST G1Pro アップデートインストーラ  
【対象製品】 SST G1 Pro 日本語版 / 英語版  
【登録名】 SST G1 Pro Ver.1.1.11  
【アプリケーション名】 setup.exe  
【著作権者】 株式会社カンバス  
【動作環境】 Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 / 日本語版 / 英語版  
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。  
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。  
=====

<Ver.1.1.11> 2015.12

## 本バージョンアップによる変更内容

### 1) 新規追加機能

- Windows10 正式対応
- 波形データの保存先
- ユーザー設定（ダーシの設定）
- ビデオトロン/ラムダのエクスポート（@幅広 [一] @の出力）
- Sub rip text (srt) ファイルのエクスポート

### 2) バグ修正

#### 1) 新規追加機能、仕様変更

-Windows10 の正式サポートを開始しました。

Windows10 環境において、正式にサポートを開始いたします。

ただし、新再生機構において MOV 形式の映像の一部にて倍速再生及び倍速逆再生時に音割れがする問題を確認しており、こちらにつきましてはサポート対象外とさせていただきます。

本事象については近々修正版をリリースする予定です。

-波形データの保存先を新再生機構と Direct Show を使う (SSTG1 モード) で分けるようになりました。

新再生機構の場合、[ドキュメント]-[SST G1 Pro]-[Wave]配下の「Normal」フォルダに作成され、SSTG1 モードの場合、[ドキュメント]-[SST G1 Pro]-[Wave]配下の「DSMode」フォルダに作成されます。（※いずれもデフォルトの場合）

## ●ユーザー設定

―ダ―シを指定できるようになりました。

ダ―シとは：

1つの字幕が「次の字幕に続く」ということを明確に示すための記号。  
「―」の長さが1.5倍になっているものである。（右図の赤丸）

ある企業が開発した  
謎のディスク―

[ファイル]―[ユーザー設定]をクリックし、[ガイドライン]タブ「ダ―シとして指定する文字列」で設定が行えます。

ユーザー設定

ガイドライン | 画面表示 | 詳細 | 色 | メンテナンス | 言語

字幕

文字数(秒): 4.00  ルビも文字数に含む

文字数(行)(横): 16.0  半角を0.5でカウントする  
 スペースをカウントしない

文字数(行)(縦): 16.0  半角を0.5でカウントする  
 スペースをカウントしない

タイムコード

字幕表示時間: 警告 01:00 強制 00:15

字幕の間隔: 警告 00:10 強制 00:00

数値による選択方法

字幕番号  インデックス

ダ―シとして指定する文字列

― ― ― ―

インポート | エクスポート

デフォルトに戻す | OK | キャンセル | 適用

ダ―シとして指定する文字列を4つまで登録可能です。登録できる文字列は4文字までです。

## ●ビデオトロン/ラムダのエクスポート

―ユーザー設定で「ダ―シとして指定する文字列」に設定した文字列を「@幅広 [―] @」で出力できるようになりました。

―ユーザー設定で「ダ―シとして指定する文字列」に設定した文字列が複数続く場合、後ろの文字列を「@幅広 [―] @」で出力できるようになりました。

例) 「ー」を「ダッシュとして指定する文字列」に設定  
字幕：コンピューター---

### OSSTG1 上での表示

「ー」を 3 つ以上入力した場合、後ろの 2 文字をダッシュとして表示

### ○ビデオトロン/ラムダのエクスポート結果

00001322/00001910      コンピューター@幅広 [ー] @

「ー」を 3 つ以上入力した場合、後ろの 2 文字をダッシュとして「@幅広 [ー] @」で出力

●Sub rip text (srt) ファイルのエクスポート

－斜体タグ (<i> </i>) を出力できるようになりました。

－タイミング情報のエクスポートの種類を選択できるようになりました。

<これまでのバージョン>

タイムコードの「時／分／秒」はそのまま、フレーム単位のみ 1/1000 表記にしていました。

<本バージョンより>

現状のタイミング情報にプラスして、タイムコードを実時間に変換をしてエクスポートする設定を選択できるようになりました。例／ノンドロップのタイムコード 01:00:00:00 = エクスポートされたタイミング情報 01:00:03:600

※仕様上、タイムコードの 00:00:00:00 を srt ファイル上の 00:00:00:000 というタイミングでエクスポートする仕様となっているので、01:00:00:00 のタイムコードは上記のように、「01:00:03:600」となります。

デフォルトは実時間での変換となります。今までの仕様をご希望の場合にはエクスポートの「詳細設定」のタブにて、「タイムコードの時／分／秒を維持する」を選択してください。

## 2) バグ修正

－台本ウィンドウの文字を選択し、[コピー]ボタンで貼り付けると、文字を選択していた位置から下にカーソルが移動してしまう問題を修正しました。